

松阪市立徳和小学校 3年 藤原 永韻「まつさかのぎおん祭り」

わたしは、まつさかのぎおん祭りがすきです。

わたしが小さいときは、コロナでお祭りへ行けませんでした。小学校になってはじめてぎおん祭りに行ったとき、とてもたくさんの屋台がどの道路にも出ていてびっくりしました。妹はカステラを買って食べたし、わたしはゼリーをつめて作るランプ作りをしました。とても楽しかったです。

たくさんの人の中を歩いていると、ようち園のときの友だちにひさしぶりに会えてうれしかったです。新しく友だちになった小学校の子にも会えるのでワクワクして歩きました。

祭りの中で、とてもおどろいたのは、みこしです。

わたしが家族とあるいていたら、後ろからみこしをかついだ人たちが
「チョーサヤ、チョーサヤ。」

と大きな声でさけびながら歩いてきました。その声の大きさと人の多さとみこしの大きさにとてもびっくりしました。みこしの金色がいっぱいあってとてもきれいだなあと思いはなせなかったです。みこしをかついでいる人たちは重そうにしていたけど、え顔もたくさんあって楽しそうでした。まわりで見ていた人たちもみんなえ顔で見ていたり、動画をとったりしていました。

わたしはそのときのことがわすれられません。みんなをえ顔にできるぎおん祭りやみこしは、ずっとまつさか市にのこっていくといいし、未来にもつたえていけばいいなと思いました。そして、四年生から三社みこしのかつぎ手にさんかできることを知ったので、わたしもチャレンジして、未来につたえていくためのお手つだいができればいいと思いました。